

広域連携バリューチェーン改善協議会

■取組の背景

- 富山湾内で盛んな定置網漁業では近年水揚量の減少が続き、漁業者の高齢化等も問題となっていた。
- J水産加工施設が整備され、高品質な漁獲物を消費者まで届けることが可能となった。

■取組の目的

- 広域連携による安定的な加工原料の供給
- 生産から販売にいたるトレーサビリティの構築
- 物流コストの削減

■協議会の構成員と役割

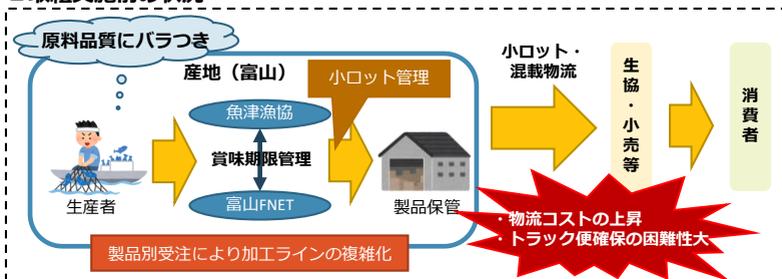
段階	名称	役割	
事業実施者	生産	魚津水産株式会社、輪島漁業協同組合、浜坂漁業協同組合	・ホタルイカ、ブリ類等の供給 ・ブリ類の供給、高鮮度化に向けた取組
	加工・統括	魚津漁業協同組合	・水産加工製品の製造・販売
	加工	日本海冷蔵株式会社	・凍結加工原料の保管 ・原料トレーサ情報の管理
	流通	株式会社松栄運輸	・水産加工製品の保管・物流
	販売	中島水産株式会社	・デパート等鮮魚売場での製品販売 ・消費者情報の提供
オブザーバー	石川中央魚市株式会社	・ブリ類原料の供給	
	パレシステム生活協同組合	・加工製品の販売先	

■取組内容

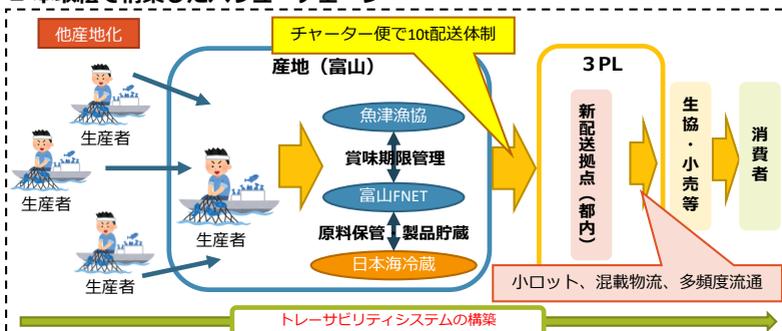
生産	◆広域連携による加工原料の安定的な確保と生産効率化 ◆近隣漁漁、生産者との広域連携>安定的な生産体制の構築に向けて、関係各者との連携体制を強化する。 ◆加工原料の安定確保と高品質化>生産者との連携により、加工原料となるブリ類やホタルイカの高品質化と安定的な確保に向けた体制を構築 ◆加工工程の効率化と消費期限の延長>既存の水産加工機器類を活用し、より効率的な生産体制を構築するとともに、高度な品質管理の実現によって賞味期限を延長し、廃棄によるロスを削減
	◆トレーサビリティの構築 ◆生産段階におけるトレーサビリティの構築>温度ロガー等の導入によって漁場、漁獲時間ごとの温度管理状況を把握し、生産から加工場に至るまでのトレーサビリティを構築 ◆加工段階におけるトレーサビリティの構築>QRコードやICタグを用いたロット管理システムを導入することで、情報を付加し、安全・安心な加工品の供給に必要な情報を提供 ◆流通・販売段階におけるトレーサビリティの構築>「生産者の顔の見える化」を実現する。
加工・流通	◆3PLの構築による物流コストの削減 ① 3PLによる製品輸送体制の確立>物流を専門の流通業者に外部委託する3PL（サードパーティーロジスティクス）による物流体制を構築し、流通の効率化とコスト削減を実現 ② 物流拠点の設置による流通効率化>製品の一時保管及び配送拠点を設置し、一定量の製品を貯蔵保管先からチャーター便で輸送することで、効率的な輸送を実現 ③ 配送業者との連携による小ロット配送の実現>配送拠点をベースとして保管・ピッキング、出荷を行う体制を構築し、個別出荷先への小ロット配送を実現することで、物流コストを削減
	◆販路

システムの導入による物流の効率化とトレーサビリティの構築

■取組実施前の状況



■本取組で構築したバリューチェーン



■取組の現状と今後の展望

- コロナ禍における巣ごもり需要によって、一部販路における販売は好調。
- 不漁による原料調達困難や、コロナ禍における販売金額の低迷を受け、引き続きトレーサビリティシステムの確立と物流改善を図っていく。

★本取組によって得られたバリュー★

課題解決（生産面）

広域連携による加工原料の安定確保と生産効率化

システム構築

生産から販売にいたるトレーサビリティの確立

コスト削減

3PLの構築による物流コストの削減